

05 年 07 月 22 日 ■ 兵庫県知事・県警本部に要請

本日（22 日）午後、兵庫県関係の失踪者ご家族が兵庫県知事・県警本部に要請を行います。これは救う会兵庫の行う活動に同行するもので、有本恵子さんのご両親も参加されます。調査会からは代表荒木・理事岡田が参加します。

調査会から県警への要請文書の内容は以下の通りです。

平成 17 年 7 月 22 日

兵庫県警本部長

異高英様

特定失踪者問題調査会代表

荒木和博

特定失踪者問題に関する要請

拝啓

平素の拉致問題解決への取り組みに関し、心より敬意を表します。

さて、9・17 で 4 人の失踪者が拉致認定されて以降、この 4 月にはじめて神戸市出身の田中実さんが拉致認定されましたが、ここに至るまでには県警の本部長をはじめとする担当者の皆様の並々ならぬ努力があったことと聞いております。

その努力は多といたしますが、警察全体で考えれば 2 年半で追加認定 1 名という結果は余りにもささやかなものと考えざるをえません。官房長官の国会答弁などからしても、事件としての拉致問題を解決するにあたり、最大の責任を負っているのは警察であるということ認識していただき、一層の善処をお願い申し上げる次第です。

つきましては、下記の項目について要請申し上げます。

1、兵庫県に関係する特定失踪者のご家族で県警に告発状を提出している方々について、現在の対応がどうなっているか、明らかにしてください。

2、すでに国会答弁などを通じても拉致被害者が現在の認定者より遥かに多いことは明らかにされていますが、兵庫県内で拉致された可能性のある人は何人程度いると想定されるのか、特定失踪者リストの中で誰がその可能性が高いのか、明らかにしてください。

3、私たちは拉致が最近まで行われており、今後も行われる可能性があると思っておりますが、県警のご判断はいかがでしょうか。もし、現在行われていないと判断されているとすればその根拠をお示しく下さい。

今後とも全国の県警の先頭に立って拉致問題解決の尖兵として邁進いただきたく、お願い申し上げます。

敬具